

市町村名	那覇市							
令和４年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-21	歴史散歩道整備事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章－3－（2）－（イ）		
担当部課名	都市みらい部 道路建設課	事業実施（予定）年度	平成24～令和5年度			世界から選ばれる持続可能な観光地の形成と沖縄観光の変革		
					沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-1-(1)		
事業内容	沖縄らしい魅力的な観光地およびまちづくりのため、景観に配慮した路面改良、快適に回遊できる歴史散歩道を整備整備することを目的とし、琉球王国時代の幹線道路である「真珠道」を整備する。その「真珠道」の一部として、観光客等が那覇の歴史に感じて歩くことができるようにするため、多くの史跡が現存する山下町地域に歴史散歩道を整備する。							
効果発現年度	☐ 当年度 ☒ 後年度（令和6年度）							
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R4年度（繰越）	
	予算の状況	(a) 当初予算額	20,000	30,000	10,000	57,800		
		(b) 予算現額	17,399	27,685	9,987	57,800		
		(c) 増減額（b-a）	▲ 2,601	▲ 2,315	▲ 13	0	0	
		(d) 繰越額	0	0	0	0	34,744	
		A. 計（b+d）	17,399	27,685	9,987	57,800	34,744	
	B. 執行済額		17,383	26,191	9,987	23,056	34,744	
	うち交付金充当額		13,906	19,379	7,989	18,444	27,796	
	次年度繰越額		0	0	0	34,744		
	執行率（％）（B/A）		99.9％	94.6％	100.0％	39.9％	100.0％	
予算の状況の説明		里道と私有地の境界確認、地権者との境界確認及び調整に時間を要した。さらに、琉球王国時代の遺構の一部について埋蔵文化財有無の調査等に時間を要したため、予算額57,800千円のうち前払金23,056千円を執行し、残り34,744千円を繰越したが、8月に完了した。						
活動目標（指標）及び達成状況	R4活動目標（指標）			達成状況				
				R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	歴史散歩道の整備：道路整備工事 路線（整備路線：山下11号、山下12号、里道）	目 標					道路整備：山下町地内	
		実 績					道路整備：山下町地内	
		目 標						
		実 績						
達成状況説明	山下町地内において歴史文化財に隣接する散歩道の路線の一部について琉球石灰岩石張舗装を整備することができた。							
成果目標（指標）及び進捗状況	R4成果目標（指標）			基準値（年度）	R2年度	R3年度	R4年度	目標値（R6年度）
	本事業により、整備を行った歴史散歩道（山下町地内）について、観光客へのアンケート調査を実施し、歴史を感じて歩くことができたか（80％以上）を含め、アンケート調査により、本事業のあり方を検証する。	目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ 8割以上 ）	（ 8割以上 ）	
		実 績				未実施		
		目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績						
	進捗状況説明	山下町地内において歴史文化財に隣接する散歩道の路線の一部について琉球石灰岩石張舗装を整備することができたが、継続して令和5年度も整備を進めているところであり、令和4年度の効果発現は後年度となり、工事が完了し案内説明板の設置される令和6年度に後年度評価を行う。 なお、令和3年度までに歴史散歩道整備事業にて整備された散歩道については、9割以上の方が「歴史を感じて歩くことができた」と回答している。						

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・琉球石灰岩石張舗装を整備し、歴史散歩道に相応しい歩行空間を確保することができたため、目標値を達成できたと考えられる。	・沖縄らしい雰囲気が出ているという意見もあり、より周知するため今後も案内説明板の設置を検討したい。
今後の取り組み方針		
・石張舗装の整備と同様に、案内説明板は国内外の人々が那覇の歴史に触れるために必要な情報であることから設置に努める。 ・整備完了した路線については、現地案内板だけでなく、ホームページ等による案内を行い、利用促進を図る。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
63,987	57,800	46,240	11,560	6,187

那覇市
57,800千円

→

工事請負費
57,800千円

→

株式会社 野原建設 57,800千円

令和4年度 歴史散歩道整備工事(山下町地内)

交付対象外経費6,187千円については令和5年現年度分からの執行である。

資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○工事請負費の執行にあたっては、一般競争入札方式等により業者を選定しており、妥当であったと考えている。 ○予算規模については、適正な規模であったと考えている。 ○費目及び使途の事業目的については、予算執行伺及び工事完了検査等において確認しており、適正であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市							
令和４年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	6-12	学校施設老朽化抑制事業（塩害防止・長寿命化）		新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章－5－（2）－エ			
					時代の変化に対応する魅力ある学校づくりの推進			
担当部課名	生涯学習部 施設課		事業実施（予定）年度	平成24～令和8年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ－11		
事業内容	老朽化した学校校舎等において、塩害により躯体が劣化し、コンクリートの剥離等が発生している状況である。これら学校校舎等のうち、令和4年度は小禄小学校、城東小学校の外壁面への塗装工事や屋上面への防水工事を行い、施設の老朽化抑制を図った。							
効果発現年度	■当年度 □後年度（ 年度）							
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R4年度（繰越）	
	予算の状況	(a) 当初予算額	218,460	129,300	679,360	47,723		
		(b) 予算現額	179,740	128,492	489,360	141,579		
		(c) 増減額（b-a）	▲ 38,720	▲ 808	▲ 190,000	93,856		
		(d) 繰越額				0	69,331	
		A. 計（b+d）	179,740	128,492	489,360	141,579	69,331	
	B. 執行済額		174,591	128,318	484,526	72,248	61,998	
	うち交付金充当額		139,672	90,509	363,394	57,798	49,598	
	次年度繰越額					69,331		
	執行率（％）（B/A）		97.1%	99.9%	99.0%	51.0%	89.4%	
	予算の状況の説明		塩害防止対策として小禄小学校、城東小学校に外壁塗装工事等を実施し、小禄小学校においては年度内の完了により予算を執行した。城東小学校においては、足場設置後の現地調査により補修数量が想定以上に増え、施工期間に不測の日数を要し、年度内の事業完了が困難となったため、繰越となったが、令和5年度に完了し予算の執行を行った。					
活動目標（指標）及び達成状況	R4活動目標（指標）		達成状況					
	小学校校舎等外壁整備（工事）：2校	目 標	（ 1校 進捗率80% ）	（ 0校 進捗率80% ）	（ 2校 進捗率100% ）	（ 2校 進捗率100% ）		
		実 績	1校 進捗率80%	0校 進捗率80%	2校 進捗率100%	2校 進捗率100%		
	【参考指標】 中学校校舎等外壁整備（工事）：0校	目 標	（ 0校 進捗率70% ）	（ 1校 進捗率80% ）	（ 2校 進捗率100% ）	（ 0校 進捗率100% ）		
		実 績	0校 進捗率70%	1校 進捗率80%	2校 進捗率100%	0校 進捗率100%		
	【参考指標】 小学校、中学校校舎等外壁整備（実施設計）	目 標	（ 小0校、中1校 進捗率75% ）	（ 小1校、中0校 進捗率80% ）	（ 小0校、中0校 進捗率80% ）	（ 小2校、中0校 進捗率100% ）		
		実 績	小0校、中1校 進捗率75%	小1校、中0校 進捗率80%	小0校、中0校 進捗率80%	小2校、中0校 進捗率100%		
	達成状況説明	・令和4年度は小禄小学校、城東小学校の塩害防止対策を実施し、概ね目標を達成できた。 ・工事は、学校活動に支障を与えないよう安全面に十分配慮した施工を行い、完了することができた。						
	成果目標（指標）及び進捗状況	R4成果目標（指標）		基準値（年度）	R2年度	R3年度	R4年度	目標値（年度）
		・教育委員会による点検を実施する。 外壁等の剥離件数：0件 外壁の亀裂等件数：0件	目 標	（ ）	（ 剥離：0件 亀裂等：0件 ）	（ 剥離：0件 亀裂等：0件 ）	（ 剥離：0件 亀裂等：0件 ）	（ ）
実 績				剥離：0件 亀裂等：0件	剥離：0件 亀裂等：0件	剥離：0件 亀裂等：0件		
【参考指標】 ・H24～R4計画の進捗率：100%（小学校）		目 標	（ ）	（ 0校 進捗率：80% ）	（ 2校 進捗率： ） 100%	（ 2校 進捗率： ） 100%	（ ）	
		実 績		0校 進捗率：80%	2校 進捗率：100%	2校 進捗率：100%		
【参考指標】 ・H24～R4計画の進捗率：100%（中学校）		目 標	（ ）	（ 1校 進捗率80% ）	（ 2校 進捗率： ） 100%	（ 0校 進捗率： ） 100%	（ ）	
		実 績		1校 進捗率80%	2校 進捗率：100%	0校 進捗率：100%		

市町村名	那覇市						
令和４年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	6-19	森の家みんな施設機能強化事業		新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章－5－（1）－7		
担当部課名	生涯学習部 生涯学習課	事業実施（予定）年度	令和4年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	地域を知り、学びを深める環境づくり	
事業内容	子どもたちが学習に集中できる快適な環境を確保するため、冷房機を設置し、施設の機能強化を図る。						
効果発現年度	■当年度 □後年度（ 年度）						
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋ 「市町村負担」 ベース）			R4年度	R4年度（繰越）			
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	3,393				
		(b) 予算現額	3,393				
		(c) 増減額 (b-a)	0	0			
		(d) 繰越額		3,080			
		A. 計 (b+d)	3,393	3,080			
	B. 執行済額		0	3,080			
	うち交付金充当額		0	2,464			
	次年度繰越額		3,080				
	執行率（％）(B/A)		0.0%	100.0%			
予算の状況の説明		・入札による実績不用額。 ・電力会社が対応する電力容量変更工事に不測の日数を要したため契約額3,080,000円を繰越した。					
活動目標 （指標） 及び達成状況	R4活動目標（指標）		達成状況				
				R4年度			
	冷房機設置に向けた契約	目 標	契約締結				
		実 績	契約済み				
		目 標					
		実 績					
達成状況説明	・R4.12.23入札の公告、R5.1.12入札説明会を実施し、R5.1.24入札開札を行い、落札業者とR5.1.30契約書を締結した。 ・電力会社が対応する「電力容量変更工事」に日数を要したため、R5.3.28付、納入期限をR5.3.31まで延長する変更協議を行った。 ・その後、繰越指示を確認し、R5.3.29に納入期限をさらにR5.5.15まで延長する変更協議を行い、R5.3.30変更契約を行った。						
成果目標 （指標） 及び進捗状況	R4成果目標（指標）			基準値 （ 年度）	R4年度		目標値 （ 年度）
	冷房機の設置完了	目 標	（ ）	（ 設置完了 ）	（ ）	（ ）	（ ）
		実 績		完了			
		目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
		実 績					
	進捗状況説明	・冷房機の設置は、R5.4.27検査完了し、R5.5月より供用開始している。					

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・冷房機を設置することで、熱中症対策につながり、学習に集中できる快適な環境を利用者に提供することができた。 ・学習に集中できる快適な環境を保つためには、利用者ニーズを把握する仕組みを構築する必要がある。	・施設利用に関するアンケートを実施し、学習に集中できる環境の維持や充実を図る。
今後の取り組み方針		
・施設機能について広報を強化し、利用者拡充に向けて取り組む。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位: 千円)				
総事業費	交付対象事業費	交付金	市町村	交付対象外経費
		充当額	負担金	
3,080	3,080	2,464	616	0

那覇市
3,080千円

→

備品購入費
3,080千円

→

(有)長光電気空調設備
3,080千円

(冷房機設置に必要な備品購入費)

資金の 使途の 流れ、 費目、 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○業者選定は一般競争入札により実施しており、妥当であったと考えている。 ○入札残による不用額はあるが、4社から見積を徴収し予算措置していることから、適正な規模であったと考えている。 ○費目・使途については、検査、確認していることから適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限られているか。	

市町村名	那覇市							
令和４年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	6-20	共生・多様性社会実現事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章－2－(6)－(イ)		
担当部課名	まちなみ共創部 建築工事課 企画財務部 企画調整課	事業実施 (予定)年度	令和４～９年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	地域コミュニティの活動支援 Ⅲ－3－1		
事業内容	生涯学習施設や福祉施設等を機能集約し、多様な市民が施設の利用を通してつながることで、失われている地域のつながりを復活・再生させ、多様で複雑な課題に地域で対処できる社会を形成する。							
効果発現年度	☐ 当年度 ☒ 後年度（令和10年度以降）							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋ 「市町村負担」 ベース）			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R4年度繰越	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額					5,840	
		(b) 予算現額					5,840	
		(c) 増減額 (b-a)	0	0	0	0	0	0
		(d) 繰越額					0	5,840
		A. 計 (b+d)	0	0	0	5,840	5,840	
	B. 執行済額					0	5,840	
	うち交付金充当額					0	4,672	
	次年度繰越額					5,840	0	
	執行率（％）(B/A)		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	0.0%	100.0%	
予算の状況の説明		令和4年度は、移設計画の策定にあたり関係機関との協議等に不測の日数を要したことから繰越となったが、令和5年度に業務を完了し予算の執行を行った。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	R4活動目標(指標)			達成状況				
				R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	雨水排水管移設計画の策定			目 標	(-)	(-)	(-)	(移設計画策定)
				実 績	-	-	-	移設計画策定
達成 状況 説明	令和4年度は、移設計画の策定にあたり関係機関との協議等に不測の日数を要したことから繰越となったが、令和5年5月に完了した。							
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R4成果目標(指標)			基準値 (年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値 (年度)
	雨水排水管移設計画の策定完了			目 標	()	()	()	(移設計画策定完了) ()
				実 績			移設計画策定完了	
	進 捗 状 況 説明	雨水排水管移設計画については、繰越となったが令和5年5月に完了した。						
取組 の 検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）				改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）			
	対外調整に時間を要し予定より遅れることとなった。				対外調整に必要となる条件整理及び課題の具体化により、調整時間の短縮に取り組むことが必要。			
今後の取り組み方針								
業務の早い段階で対外調整を行い、条件、課題の認識のすり合わせ、共有を行うことで方向性や検討事項を絞り込み、調整時間の短縮に取り組む。								

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>926,707</td><td>5,840</td><td>4,672</td><td>1,168</td><td>920,867</td></tr> </table> 那覇市 5,840千円 → 委託料 5,840千円 → (株)邦エンジニアリング 5,840千円 ほか、測量、土質調査等委託料 (交付金対象外経費) 10,428千円 ほか、公有財産購入費 (交付金対象外経費) 910,439千円 雨水排水管移設計画の策定					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	926,707	5,840	4,672	1,168	920,867
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
926,707	5,840	4,672	1,168	920,867										
資金の 使途の 流れ、 点検 評価・ 費目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は一般競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。 ○事業費は全額執行しており適正な規模であったと考えている。 ○費目、使途については、事業目的に即して実施しており、適正であったと考えている。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												